

新型インフルエンザの外来診療における感染予防策

患者同士の感染を防ぐ

厚生労働省 健康局 結核感染症課
監修：北里大学医学部 和田耕治

平成21年10月



このDVDについて

このDVDでは、外来診療の場において**新型インフルエンザの患者さん（疑い例を含む）**から、他の慢性疾患などで受診した患者さんへの感染を防ぐための様々な対策を紹介しています。患者さん同士の感染を予防することは、職員への感染を予防することと同様に、院内感染対策として非常に重要なことです。

「診療所編」と「病院編」に分け、実際の医療機関で実施されている具体的な対応例・工夫例を取り上げて、それぞれのポイントを整理しました。参考になる例があれば、採用できる範囲で実施していただけるようお願いいたします。

平成21年10月
厚生労働省 健康局 結核感染症課

■動作環境

- ・本ディスクはDVDビデオ対応のプレーヤー又はパソコンで再生して下さい。
- ・再生上の詳しい取り扱い方は、ご利用になるプレーヤー等の取り扱い説明書をご参照下さい。
- ・「付録資料」はPCでのみ閲覧可能です。

■付録の閲覧方法（※Windowsの場合）

付録資料はディスク内の[DOCUMENT]のフォルダにあります。

- 1.ディスクをPCのDVDドライブに挿入します。
2. [マイコンピュータ]を開きます。
3. DVDドライブにカーソルを合わせ、右クリックし、[エクスプローラ]を選択します。
4. 表示された[DOCUMENT]のフォルダに付録資料が一括格納されています。



このDVDの構成

このDVDは、次のような構成となっています。目的に応じてご活用ください。

本編

診療所編（14分）

患者同士の感染拡大を防ぐために、実際の医療機関で実施されている対応や工夫の事例が紹介されています。

院内研修や自習用として視聴してください。

病院編（13分）

付録

厚生労働省資料

フォルダ名：mhlw

- 平成21年10月2日事務連絡「ファクシミリ等による処方せんの送付及びその応需に関するQ&Aについて」（ファイル名：1002jimudoc）
- 平成21年8月28日事務連絡別添3-6「新型インフルエンザ患者数の急速に増加している場合のファクシミリ等による処方せんの送付及びその応需に関する留意点について」（ファイル名：0828jimudoc）
- ポスター「新型インフルエンザ感染拡大防止」（ファイル名：poster.doc）
- パンフレット「「インフルエンザかな？」症状がある方々へ 受診と療養の手引き-」（ファイル名：leaflet.doc）

本編で紹介している厚生労働省事務連絡等、関連する資料です。ご参照ください。

参考資料

患者・家族向け情報

職員向け情報

- 院内掲示ポスター例（ファイル名：診療所用：poster_c.doc / 病院用：poster_h.doc）
- 対応マニュアル例（ファイル名：診療所用：manual_c.doc / 病院用：manual_h.doc）
- 電話相談への対応例（ファイル名：tel.doc）

編集可能な電子ファイルです。各医療機関でご自由に編集、印刷してご活用ください。

フォルダ名：example

患者同士の感染を防ぐ3つのポイント

1. 発熱者との接触機会の低減

電話による受診相談・トリアージ

電話相談窓口の明示
来院指示（時間帯指定 マスク着用）

電話で症状を確認し、新型インフルエンザ感染の可能性を判断します。他の患者と接触をなるべく避け、受診の時間帯や場所を指定します。受診の際は必ずマスクの着用を促します。

通常の診療	0:00～11:00
午前 発熱外来	11:00～12:00
午後 通常の診療	15:00～17:00
午後 発熱外来	17:00～18:00

専用診療時間帯への誘導

新型インフルエンザ専用時間帯の設定と誘導
患者への周知（ポスター パンフレット HP）

診療時間帯を分ける場合には、ポスター掲示やリーフレット配布などにより事前に告知をすることが重要です。

来院時は・・・

受付での発熱者の特定

体温計準備 検温 発熱の確認

受付でなるべく早く検温する機会を提供し、発熱している場合には、一般患者との接触を最小限とするよう、待合室の使い方や薬の授受方法を工夫します。

一般患者との分離

待合室の分離・職員による誘導
薬の授受方法の工夫
慢性疾患のある患者へのファクシミリ処方※



※ファクシミリ処方に関する事務連絡：（「付録資料」に掲載しています）
<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/hourei/2009/10/dl/info1001-01.pdf>ほか

診療所編

2. 基本的な感染対策

マスクの着用励行

マスクの準備、着用指示

咳エチケットとして、インフルエンザの疑いのある患者にはマスクの着用を促します。手洗い・手指消毒など、日常的な感染予防を徹底することが重要です。



手洗い・手指消毒の励行

消毒薬の設置、ポスター掲示

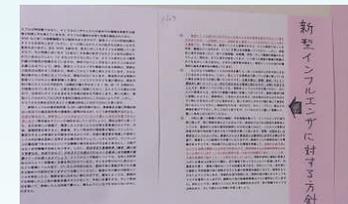
3. 正しい知識の普及

新型インフルエンザへの対応方法

電話相談や診療時間の案内のほか、新型インフルエンザに対する正しい知識や対応方法について、わかりやすく情報発信します。患者や家族の不安をやわらげるとともに、予防から受診、療養にいたるまで、適切な行動を促すことができます。

家庭内感染の知識と予防策

患者・家族・一般市民への情報発信
ポスター パンフレット HP



患者同士の感染を防ぐ3つのポイント

1. 発熱者との接触機会の低減

電話による受診相談・トリアージ

電話相談窓口の明示

来院指示（発熱患者専用外来での受付 マスク着用）

電話で症状を確認し、新型インフルエンザ感染の可能性を判断します。他の患者と接触をなるべく避け、受診の時間帯や場所を指定します。受診の際は必ずマスクの着用を促します。

職員役割や手順をマニュアルに定めるなど、組織的に対応しましょう。

来院時は・・・

専用外来への空間的・時間的誘導

発熱患者専用外来への誘導

（正面玄関ポスター 受付までの経路の表示）

他の慢性疾患の患者とは別に、専用外来の受付を設け、総合受付から専用外来までの経路をわかりやすく示します。



受付での発熱者の特定

体温計準備 検温 発熱の確認

受付でなるべく早く検温する機会を提供し、発熱している場合には、一般患者との接触を最小限とするよう、待合室の使い方や薬の授受方法などを工夫します。

一般患者と動線の分離

入口・待合室の分離と誘導

会計・薬の授受方法の工夫

慢性疾患のある患者へのファクシミリ処方※



※ファクシミリ処方に関する事務連絡：（「付録資料」に掲載しています）
<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/hourei/2009/10/dl/info1001-01.pdf>ほか

病院編

2. 基本的な感染対策

マスクの着用励行

マスクの準備、着用指示

咳エチケットとして、発熱患者にはマスクの着用を促します。手洗い・手指消毒など、日常的な感染予防を徹底することが重要です。



手洗い・手指消毒の励行

消毒薬の設置、ポスター掲示
消毒・清掃

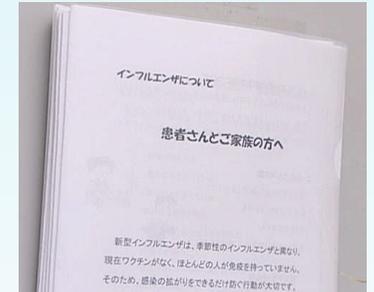
3. 正しい知識の普及

新型インフルエンザへの対応方法

家庭内感染の知識と予防策

患者・家族・一般市民への情報発信
ポスター パンフレット HP

電話相談や診療時間の案内のほか、新型インフルエンザに対する正しい知識や対応方法について、わかりやすく情報発信します。患者や家族の不安をやわらげるとともに、予防から受診、療養にいたるまで、適切な行動を促すことができます。



新型インフルエンザの外来診療における感染予防策
患者同士の感染を防ぐ

監修：北里大学 医学部 衛生学公衆衛生学 和田耕治

撮影協力：おぐちこどもクリニック 院長 小口弘樹
(五十音順) 看護師 是永典子
・敬称略) 東京都保健医療公社荏原病院 感染管理認定看護師 黒須一見
廣津医院 院長 廣津伸夫
横浜南共済病院 呼吸器内科部長 高橋健一
看護師長 柳下優子

平成21年10月

制作 インタラクトテクノロジー株式会社

企画協力 株式会社三菱総合研究所

企画・発行 厚生労働省 健康局 結核感染症課

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1丁目2番2号

TEL 03-5253-1111

FAX 03-3581-6251